

# 第2次高松市創造都市推進ビジョン における取組について（概要）



# 主な取組事業の概要について（1）

こどもプロジェクト  
(全11事業)

【継続】 11事業

工芸プロジェクト  
(全6事業)

【継続】 3事業 【改善継続】 1事業 【統合】 1事業 【廃止等】 1事業

食プロジェクト  
(全5事業)

【継続】 5事業

交流プロジェクト  
(全45事業)

【継続】 41事業 【完了】 3事業 【廃止等】 1事業

## <今後の方向性が「継続」以外の取組事業>

- 【統合】 高松盆栽振興事業
- 【改善継続】 高松盆栽の郷推進事業（令和4年度～高松盆栽産地ブランド確立事業）
- 【完了】 東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業（事前合宿誘致・実施、聖火リレー事業、交流事業）
- 【廃止等】 SETOUCHI SUMMER NIGHT FESTIVAL（廃止）、伝統的ものづくり学校巡回教室（未定）

# 主な取組事業の概要について（2）

こども 恵まれた地域資源の中で想像力を育む

## 6 高松市美術館こどもアートスペース

継続

令和4年度  
事業見込

「こどもアートスペース」を活用し、未就学児を始め様々な世代に親しまれる教育普及プログラムを展開していく。特に“ふらっとアート”では気軽に制作を楽しめるプログラムをシーズン毎に企画提供し、幅広い世代に楽しんでいただく予定。また、子ども向けの美術図書や絵本を自由に閲覧していただく。

コロナの影響  
や具体的な  
対応や取組

万全の感染対策（空気清浄機の導入、入室時の手指消毒など）を取りながら、事業を継続する。



美術館こどもアートスペースの様子

# 主な取組事業の概要について（2）

工芸 伝統・芸術・デザインのかで新しい未来を拓く

## 4 高松盆栽振興事業

統合

### 事業概要

平成28年度から高松盆栽の普及及び生産拡大の推進を図るために各種事業を実施

- 高松盆栽PR事業 盆栽大会への出展など、高松盆栽のPRを実施
- 盆栽産地振興事業 盆栽産地の振興を図るため、産地の活動を支援
- 盆栽輸出振興事業 盆栽の輸出拡大を図るため、海外盆栽バイヤーとの商談会開催及び輸出体制整備を支援

## 高松盆栽の郷推進事業と統合



高松盆栽ロゴマーク



「高松盆栽の郷」拠点施設

## 5 高松盆栽産地ブランド確立事業（R3：高松盆栽の郷推進事業）

改善継続

### 令和4年度事業見込

高松盆栽振興事業を統合し、県と連携して、高松盆栽の輸出拡大による盆栽産地活性化対策を推進するとともに、拠点施設「高松盆栽の郷」を核とした盆栽ツーリズム等の取組に対する支援を行い、国内外に高松盆栽の産地ブランドの確立を図る。

### コロナの影響や具体的な対応や取組

- ・盆栽生産者と連携して、香川県県産品振興課が実施するオンライン商談会の活用を図る。
- ・イベント等については、引き続きオンライン開催を視野に入れた対応を行うとともに、アフターコロナにおいて誘客促進に繋がるような取組を実施する。



# 主な取組事業の概要について（2）

## 食 豊富な食文化と異文化との融合

### 5 市場D E 自由研究事業

継続

令和4年度  
事業見込

令和3年度においては、各部1回の開催に対して2倍以上の応募があったため、令和4年度は、各部2回の計6回実施で検討する。  
(参考) 令和元年度：6回開催／162人参加 令和2年度：中止 令和3年度：3回開催／85人参加

コロナの影響  
や具体的な  
対応や取組

令和3年度に引き続き、検温や消毒、体調管理等の感染拡大防止対策を十分に講じ、感染状況を見極めながら事業を実施する。

青果部



水産物部



花き部



市場D E 自由研究事業の様子

# 主な取組事業の概要について（2）

## 交流 地域のコトを通して世界的な交流へ

### 21 瀬戸内国際芸術祭2022

継続

令和4年度  
事業見込

新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、女木島、男木島、大島、高松港を高松市の会場として瀬戸内国際芸術祭2022を開催する。

コロナの影響  
や具体的な  
対応や取組

新型コロナウイルス感染症の影響により、海外作家の来日や、県外の作家が来高して作品制作することが困難になったり、作品制作や受付のボランティアサポーターである「こえび隊」の募集に影響が生じることが予想される。会場となる離島等においては、地元に対して新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を丁寧に説明し、理解を得た上で、作品制作や来場者を迎える体制づくりを構築する。



#### 【会期日程】

春 4/14(木)～5/8(水)

夏 8/5(金)～9/4(日)

秋 9/29(木)～11/6(日)

# 新型コロナウイルス感染症への 主な対応について

# 新型コロナウイルス感染症への主な対応について

オミクロン株による新規感染が継続しているが、令和4年度の各事業においては、新型コロナウイルス感染症に対する様々な対応や取組を講じ、状況をみながら、継続して実施していく予定である。

## 令和4年度事業見込みにおける新型コロナウイルス感染症への主な対応や取組

主な対応策	例	主な事業
感染対策の徹底	参加者の把握、手指消毒や換気の徹底、来場者や出演者の体調管理、3密の回避など	【こども】美術館こどもアートスペース、0才からのコンサート 【工芸】伝統的ものづくり親子体験教室 【食】たかまつ市場フェスタ事業、市場DE自由研究事業 【交流】トリムの祭典、瀬戸内国際芸術祭2022
オンラインの活用	オンラインでの映像配信やWEB会議、WEBサイトやSNSを用いたプロモーション活動	【こども】劇団四季ミュージカル「こころの劇場」 【工芸】高松盆栽産地ブランド確立事業 【交流】魅力にあふれ人が輝く創造都市推進事業、「気持ち高まる、高松。」シティプロモーション事業
中止又は延期	感染状況を注視し、適宜、開催可否や延期などを判断	【こども】芸術士派遣事業 【交流】さめき高松まつり、高松秋のまつり・仏生山大名行列

新型コロナウイルス感染症の影響は不透明な状況ではあるが、引き続き「新しい生活様式」への対応や新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の維持の両立が求められることを踏まえ、これまでの事業のあり方を検討しながら、「創造都市」の実現に向けて、各プロジェクトに取り組む。